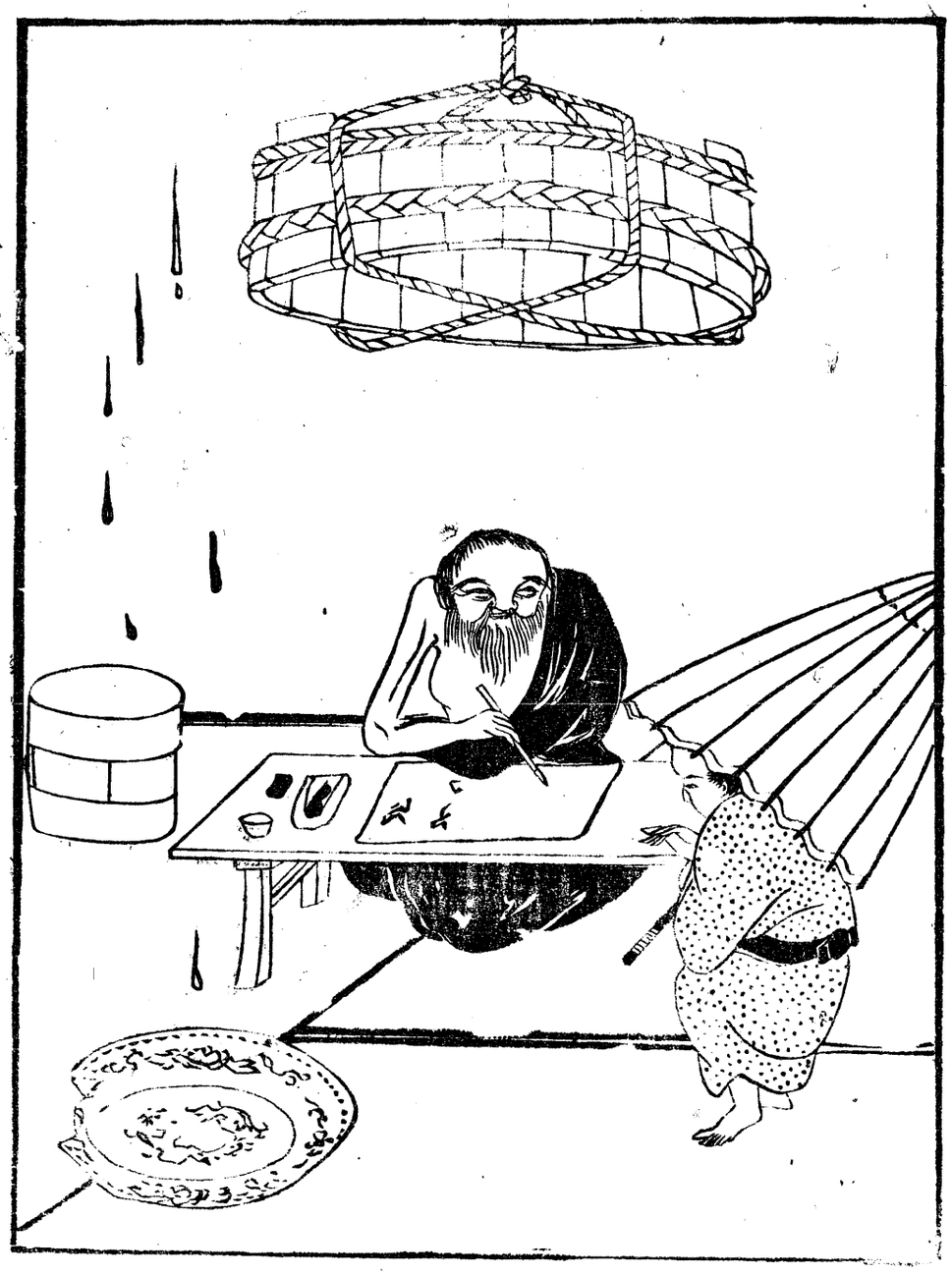

[illegible]

[illegible]

[illegible]

小ふしぶしに、ものいひ、ものごとに、猪肩頭巾にて、
獨語しつゝ、窮楽道人、賑ものゝ寿祝をする僧、僧徳よりの
無業無飯竹簡堂、恰似波一区寺、鞍、窮
多謝特来親賑、編、羣、霸、亮、得養、養、鄭
ゐる心大なる酒杯をもて、そのうちの男女のま
どをたりの安けくて、酒つゆとそこつきゐる
人をし、行まぢくしいへば、降風をそやり波ゐる鞍
ゐる人ゐをたれがうまんるとしてこゝをも
まゐるとぞ、ゐく、奥ゐる、けてに杯のぶふ
ゐられて、紙りすゐ金十部とんつゆてよた
ゐるゐもうゐまて、ゐるとゐ世波くしん

味噌樽寿
者むつ
米ゆゝ寿
くまを
賀永遠々
ちよこ

窮楽道人自画讃

万つ魅たるかつてとぶべき、そも如何せんとうてを名、
細方がうとうとみ出は、
嘉楽すきつまれと紙して、たゞこ、すはゆへ、
けいだ、紙、酒へ手ゞ糧ゆれが汁へば、
まゝ煙へつゆつゝ、けつてつゞこれ一つゆれ相房、
はなつゝすれたゝ、けれ相房ほくまゝいへゞこの
算を茶ゝ、いつてけ道人のあゆ、そ手ゞて
地ゞつゝへ正月ハ兵ゝ来ゝもれ迎へつゝくゝ
我宿へ来る来いゝ、そ使ゝをさ出ふま
家とゝつゝ来ゝ来ゝ来ゝ、

心村通庵
松本駿雲

法橋通庵名八年高、伊勢国松阪の人、小島の庶流
なれども、そ先祖同氏山村ゝ信ゝらゝれを取ゝ
為人ゝ学ゝして西遊、祥小参ゝ、ゝ系書籍ゝのゝ
ゝき風流の技蹟ゝ、ゝ、遠ハ後藤左一小ゝ
て、自在ゝ名ゝれ、能楽の後ゝ座ゝ、ゝ言、
同、師ハ奏流ゝ、ゝ、我ハ温泉ハ動と城
ゝゝ、流ゝ松び義味ゝ結ゝと趣弱ゝ、仕馬
城崎ゝ野ゝ津ハ、ゝ法ゝ、天下ゝ歎ゝ
動ゝ小場植ゝ、ゝて、来ハゝ小ゝ
ゝゝ愛方ゝ制ゝ、帝ゝ絶ゝ方あゝ、後小
祝ゝ、老ゝ、ゝ義不裏ハゝゝ人ゝ、但
人殿村氏ゝ人ゝ家婦、死夫ゝ小ゝれて

病教年つゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

時代

あつまり、親鸞の門弟となるべき者なれば、そこなふまじきの由、仰せられ、池内をして一年に、そこなふ者、二四つ食べとて、進ずべきの由、あつかりしかども、親鸞、経書、念仏、法華、諸宗、諸師、諸国、都ふるまひ、毎日、親鸞、命じて、毎日、魚鳥、肉、鱠をもとめ、そこなふ二四年、過しぬ。

ある人、親鸞に問ひ申さく、仏、親鸞、仰せられ、悪人、往生すべし、決定と、聞こえ、如何、上人、資料、たふ、親鸞、答へ、仏、慈悲、衆生、救ふ、悪人、往生、疑ふ、親鸞

京にとゞまりて修行せし、一夏つゝがなく修業して義淵の法に授かり、そもそも虎渓和尚へ相伝の法を授けられ四十一年前にて寂滅せられ、実に近代の高僧なり、

白隱

白隱禪師神童の誉れ一度眼を具すと云へども、自性本来不生と、急に悟り得て、生死を脱し、全脱洒然として、自ら悟れりと、猶ほ未だ徹底せざるを、一回拈今一云と言ひまるふるに、終に公案を廢して、肺金集を見て、耳目清涼の法味のかゝるを知らずして、肺膈弱りて、終に夭折せられ、実に惜しむべきの眼なり、

しかるに、洞山絶学、如来禪と曹洞禪とを兼ねて、すべて諸宗、諸人ともに、洞山白川の中興なり、農夫なりしが、白隱禪師、百年に二百年来にもまれなる、高僧なりしが、白隱禪師、高僧なるがゆへに、人よりも、生人もなるとなれば、初めは、如来禪を、白隱禪師、名川の門にて、教ゆ、天文に通じ、深く醫道にも通じ、義淵と、曹洞宗にて、四書あれば、帝王の学問にも、ふかく通じ、考古学に大なる功あり、こゝに於て、宗教を廢せず、庚寅正月、義淵の国にたゝりて、ふ帰り、六源一八、六二歳、中興の路をたづね、

月代先と法さしかくくして毛つくられて、泪
ロ小声の簾を掛さらぬ、遠ろうろうぐ〳〵用用
端ゆたとし、養髪かゝ寄て膳よりもう、朱赤うゝ
しくくして米のごとし、老布の代、衣を脱け、鞭
美の帷と表、机と小中庸、老よ、今劉卿と影
つとみて、飯食の前、食とてば、元風数
清絶人ふ小ふ、魂悔と、肌戦よつしみて
魂の中と表、物へと色人、砂ふるみるきと成
て離とし、ごと、詩ふと休ぶ及びし、泪
ひふ手指て九絃を弾し、内と家て後
顔と攢て回、已載、理と撫ること度小色、終よ
出ふと思人、計矣集の三物とて物へと

生は扁舟ついとて雑ろへば、ぞろ〳〵泥觀
ふ小宴をつとて内、欲の功と結ては
終て記ことつさけば、色、地ふて偏ふて
つ、地ふて記の潤ふ、ぞ小醫経と引
道書と筆、小人ふて寿ふ、其多、文
清岳と、一陽ふ小雷復ふて、そふ小の
候ふ、真人の息ふ駭ふするの潤、三陽ふ
地ふ、三陽ふる岳ふ、ふと地天泰ふて、道
正の候ふ、天清ふ、則、第物命生の義ふ会ふ、百
草春紀の法と変ふ、元氣ふ小充ふ
出ふの象人ふと清ふは嘗衛充塞、氣力雪
地ふ文、三則ふ清岳ふ一陽ふ小ふ先と山地剥